



文化博物館だより

第594号

2023年5月17日

今回の博物館だよりは、春季特別展「写真家が捉えた 昭和のこども」閉幕のご報告、ボランティアによるワークショップ活動再開のご案内、次回企画展「柿本人麿と明石－歌・信仰・文化－」についてお届けします。

春季特別展「写真家が捉えた 昭和のこども」閉幕しました。



木村伊兵衛、入江泰吉、熊谷元一、土門拳といった写真史に名を残す19名の写真家が撮影した戦前から高度成長期におけるさまざまなこどもたちの写真を紹介する本展は、5月14日(日)に閉幕しました。本展では、当時を懐かしむ世代の方が展示作品を見ながら、現代の世相と比較するなどして、同伴のご家族やご友人と一緒に語らいながら鑑賞されている姿が多く見受けられました。また本展では、関連イベントとして講演会を始め、複数のワークショップや展示解説を開催しました。その様子は、Instagramでご紹介していますので、ぜひご覧ください。

十二単・鎧の着付体験／さをり織・ティーマット作り体験

コロナ禍の影響で休止していた当館ボランティアによるワークショップの活動を4月より本格的に始動しました。

十二単・鎧の着付体験は、毎月の第2木曜日・第4日曜日の午後1時～午後1時40分～(8月、12月はお休み)。さをり織・ティーマット作り体験は、毎月第3金曜日の10時～12時の間で計4回開催しています。

詳しくは当館HPイベント情報欄をチェックしてください。



十二単・鎧の着付体験の様子



さをり織体験の様子

5月24日(水)より開催！企画展「柿本人麿と明石－歌・信仰・文化－」

江戸時代に天皇から柿本神社に奉納された重要文化財の和歌短簞のほか、人麿千年忌に関する資料や、通常60年に1度の開扉となる月照寺の秘仏で人麿念持仏といわれる「海上波切船乗十一面観世音菩薩」などを展示し、人麿が詠んだ歌や現代にいたるまでの人麿信仰の記録のほか、明石の地、明石の人々との関わりを紹介します。

【関連イベント】《要観覧券／事前申し込みが必要です》

①講演会「明石と人麿」

要事前申し込み 5月24日(水)必着

日時:6月3日(土) 13:30～15:00

講師:冷泉為人氏(冷泉家時雨亭文庫理事長)

定員:80名

②講演会「万葉時代の人麿と江戸時代の人麿－各時代における人麿像」

要事前申し込み 5月24日(水)必着

日時:6月10日(土) 13:30～15:00

講師:神道宗紀氏(帝塚山学院大学名誉教授)

定員:80名



○往復はがき、もしくはFAXに「参加希望の講演会名、参加者全員の氏名、代表者の郵便番号・住所・電話番号、参加人数(1組5名まで)」を明記し、当館まで。

(1通につき1つの講演会のみ、応募者多数の場合は抽選となります。)

○講演会には手話通訳者・要約筆記者の派遣ができます。

希望の方は、【手話通訳希望】【要約筆記希望】と明記してください。

★申込フォームからの申込みも可能です。

⇒ <https://forms.gle/MqNFZoYQCSmG6qFU7>

企画展「柿本人麿と明石－歌・信仰・文化－」

会期:2023年5月24日(水)～7月2日(日)

月曜休館

開館時間:9時30分～17:30分(入館は17時まで)

観覧料:大人:200円、大高生150円、中学生以下無料

詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<https://www.akashibunpaku.com/>

ラジオ番組出演のお知らせ

5月26日(金)関西ラジオの「原田伸郎のびのび金曜日」(12:10～12:17ごろ)に、本展担当の演室学芸員が中継で生出演します。展覧会の見どころをお話しますので、ぜひお聴きください。

Instagram @akashibunpaku

LINE @635xiocr

4 夏の間は数冊をみんなに



SDGs未来安心都市・明石

いつでも すべての人に やさしいまちを みんなで